

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	荒川地区	平成26年度	平成28年度	青森市

地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目 (必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置 及び目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化	目標達成状況の評価方法として、経営指標の反収をもとに総収量を推定して、実際の1等米収量と比較することで1等米比率を算出している。当該経営体は、平成28年度は収量が例年よりも少なかったため、評価方法における推定収量との隔たりから1等米比率を落とすこととなった。	栽培技術を学ぶ機会を増やせるよう栽培講習会等の情報を発信し、平成30年度までに目標を達成させる。

地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 当該地区は現在圃場整備が実施されており、今後担い手による農地の集積が期待される。そのような中で、担い手への農地集積による経営基盤の強化や、後継者の確保に取り組みながら農業集落の維持・発展を図ることとする。今後は農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進することにより、中心経営体の大規模化の促進に努める。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 農業経営改善計画に対する進捗状況を把握し、関係機関と連携しながら目標達成まで支援するとともに農地の流動化に関しては、特に圃場整備事業の計画段階から集団化・連担化した条件で担い手に農地を集積し、大規模化を図っていく。また、高付加価値化や6次産業化、新規就農の促進に努める。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 現行の人・農地プランは平成24年度に各地区で作成し、平成28年度まで毎年見直しを行い、地域農業を支える中心経営体を主体に話し合いを進めてきた。今後も農地利用集積の状況等を十分勘案し、地域の担い手の掘り起こしや、新規就農者の確保など、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、目標年度の次々年度の達成状況を見た上での判断となるが、今後も関係団体等と連携を図り未達成者への対応を行う。</p>
